



ココロとココロ
～届け 私たちの思い～

保護者とともに幼児の健康を守る

2008年12月、スリランカ南部州マータラ県バスゴダ地区の集会所に、幼児の手を引いた母親たちが続々と集まってきた。この日は、低所得者の子どもたちに教育や保健などの支援を行うNGOスランガニ基金が、JICA基金を活用して開く幼児対象の巡回健康診断の日だ。

同国南部の貧困地域では、医療サービスが不十分でぜんそくなどの慢性的な疾患に苦しんだり、保護者の栄養や健康管理に対する基礎知識がなく、栄養不足に陥る幼児が少なくない。そこでスランガニ基金では、南部州や中央州などの7つの地域で、医師による幼児の健康診断と、保護者への啓発活動を行った。

「最近、体調はどう?」「痛いところは?」。やや緊張気味の幼児に、聴診器を手にしたドクターが尋ねる。それまで症状の原因が分からず不安そうな表

25年に及んだ内戦を乗り越えて

スランガニ基金は、かつて青年海外協力隊員として首都コロネボ近郊の幼稚園で保育支援を行っていた馬場さんが、幼児教育の環境の改善に引き続き取り組むため、1992年に設立したNGOだ。以後、大半を現地で過ごし、幼児のための教育施設が不足する地方を中心に、プレスクールの設立・運営支援、保育者の育成、衛生教育、絵本の貸し出し支援、支援者からの寄付を子どもたちの教育資金として活用する教育里親プログラムなど、さまざまな活動を行ってきた。

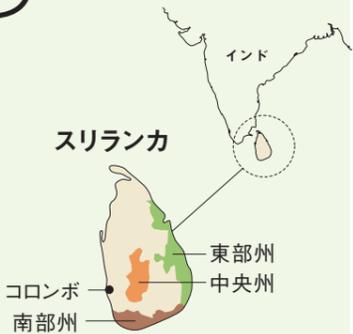
2004年のスマトラ沖大地震・イ



(上)馬場さん(左から3人目)を支える現地スタッフと日本人ボランティアたち。外国人長期滞在の規制がある中でも馬場さんが活動を続けられるよう、子どもたちや保護者、保育士ら約300人が、大統領あてに嘆願書を書いてくれたことあった
(下)スランガニ基金が、避難民キャンプの子どもたちに届ける手提げ袋には、絵本、クレヨン、チョコレート、風船なども入っている

子どもたちの 健やかな成長を願って

一人の青年海外協力隊OGによって設立され、長年にわたりスリランカで幼児の教育支援などに取り組みむNGOスランガニ基金。保護者と一緒に、子どもたちの健全な成長を実現させるため、さまざまな支援を行っている。



巡回健康診断の最後に歯磨きセットなどを渡す馬場さん(右)。カラフルな歯ブラシに子どもたちも喜ぶ

中央州・東部州の農村部で行った。

09年5月、スリランカでは25年間にわたる内戦が終結した。スランガニ基金のスタッフは、多くの一般市民が紛争で犠牲になったことへの悲しみと憤りに耐えながら、戦火を逃れ各地の避難民キャンプにたどり着いた子どもたちのために活動を開始している。それは、せっけんや歯磨きセット、絵本、クレヨン、自由画帳などを手提げ袋に入れ、配布すること。この取り組みに賛同し、同基金が活動する地域の人々や子どもたち、また日本やアメリカから、支援金や袋に入れるぬいぐるみなどが届いている。

「内戦という国民同士の戦いで、子どもたちは心に深い傷を負っている」と馬場さん。「私たちはそのすべての心に向き合ってあげたい。『あなたのことを心配している人がいる』と一人一人に伝えたいのです。子どもたちに向けられた無限大の愛情と優しさが、この小さな手提げ袋を通じて届けられている。



巡回健康診断には、7つの地域で250人以上の幼児とその保護者が訪れた。医師・看護師への謝礼や医薬品の購入などに、JICA基金が使われた

情を見せていた母親たちも、診断を受け処方された薬を受け取ると、安堵の笑顔を見せる。別室では、幼児期に予防の大切さについて講義があり、その後、スランガニ基金のスタッフが栄養価の高い食事メニューの調理を実演した。野菜と小魚がたっぷり入ったためご飯や、ひよこ豆の粉やココナツを混ぜた蒸しものなどの料理に、母親たちは興味津々の様子。子どもたちは「おいしい!」と笑顔で食事をほおばった。「これを使って、お家でちゃんと歯を磨いてね」。帰り際、子どもたちに優しく話し掛け、JICA基金で用意した歯磨きセットを手渡したスランガニ基金代表の馬場繁子さん。「幼児期の食事や健康管理はとて大切。保護者には、健康管理や栄養についての知識を得て、責任を持って子どもを見守っていくという自覚を持ってほしい」と、活動の意義を強調する。



医師から、ぜんそくの薬と吸引器の使い方の説明を受ける幼児と母親

あなたの小さな一歩から始まる国際協力 世界の人びとのためのJICA基金

JICAでは、国際協力に関心のある日本の皆さまからの寄付を、開発途上国の貧困削減や環境保全への取り組みに活用する「世界の人びとのためのJICA基金」で受け付けています。皆さまのご支援をお待ちしております。

寄付金の使われ方
お寄せいただいた寄付金は、途上国の貧困削減、医療や教育の提供、環境問題の解決などに取り組むNGOの活動に充てられます。各支援活動や寄付金事業収支についてのご報告は、「JICA寄付サイト」で公表します。

寄付の方法
「JICA寄付サイト」からお申し込み下さい。クレジットカードによる決済や、銀行・郵便振込みなどがお使いいただけます。
JICA寄付サイトURL: <http://www.kifu.jica.go.jp/>

★現在、「JICA基金」を活用した開発途上国・地域での活動提案を募集中です(7月13日締切)。詳細は上記「JICA寄付サイト」にて。